



冬の木造校舎へいらっしやい!

十和田湖を經由して秋田県大館市と青森市を結ぶ国道103号。大湯温泉を過ぎるといよいよ人家もまばらな山間地に分け入り、発荷峠を経て十和田湖休屋地区に入る。

途中、発荷峠に至る手前にあるのが、八戸方面との分岐点にある中滝地区。今でこそ十数世帯ほどの小さな集落だが、かつてこの近辺には、開拓地の入植家族や、近隣の水力発電所の官舎の住人、営林署の仕事をする人々などが暮らしていた。それらの子弟教育のために昭和30年代に

中滝小学校が新設された。平成20年の廃校までに360名の卒業生が輩出した。

同校は、鹿角市が進める交流人口拡大の拠点として平成22年に「中滝ふるさと学舎」として再整備され、そば打ち体験などの豊富な体験メニューを用意するほか、滝巡りツアーなども企画して都会の人たちに鹿角の自然に親しんでもらっている。

注目すべきは、冬場はクローズしてしまう観光施設も少なくない中で、ふるさと学舎ではカフェを含め、休

館日を除き通常通りお客を迎え入れていることだ。スノーシューを履いて結氷した滝巡りをするといったワイルドな楽しみ方は冬ならでは。

俳優の山田孝之がプロデュースした映画『ダイヤモンドナイト』のロケにもふるさと学舎は使われ、その撮影セットは館内に再現されていて、自由に見学できる。映画が平成31年1月26日に全国公開されたら、聖地巡礼でここを訪れる人も増えるだろう。

「夏は子ども会単位で子どもたち

がやってきて、滝を見たりイワナのつかみ捕りをしたり、五右衛門風呂体験をしたりして楽しんでいきます。お客さんが喜んでくれると私たちもうれしいです」(運営するNPO法人の湯瀬政弘理事長)

中滝ふるさと学舎の詳細は、ホームページを検索してチェックしていただきたい。

一度は絶えた子どもたちの歓声が、形を変えてまた戻ってきている。幸せな、木造校舎だ。

冬期間も営業する(毎月曜休館・祝祭日の場合は翌日休館)中滝ふるさと学舎内の「森のCafe こもれび」。懐かしい昔の教室で名物メニューの「かづの牛ハンバーグセット」をいただく